

【団体名】一般社団法人ピッカ

事業報告書

<p>事業名</p>	<p>音を絵にしてみよう！子どもたち&障がい児の為にジャズでアートチャレンジ教室</p>
<p>【計画時の事業内容】</p>	<p>【実施結果(成果)】</p>
<p>■実施時期</p> <p>①2019年1月～2月の土日祝日の適時な日程で開催</p> <p>②各小中学校、特別支援学校、福祉施設等の行事やイベントと重ならない日程、1日を各方面と協議しながら慎重に選定する。</p> <p>③準備は午前中。開催は、12:30 開場、13:00 開講、16:00 終講予定で組み立てる。</p> <p>■実施場所</p> <p>④宮前市民館、多摩市民館、麻生市民館、高津市民館、等いずれかの「大会議室」1ヵ所。</p> <p>◎パフォーマンス・ショータイム</p> <p>アイルランド ダブリンのニューパーク音楽大学を卒業し音楽学士号取得の若きミュージシャン/ジャズギタリスト「源内」率いるメンバーでの、子どもたち&障がい児の為に楽しいジャズ生演奏。</p> <p>続いて全国の施設等でアートワーク教室を開催するデコピン(SWITCH BOMB)氏のアートパフォーマンス披露。まずは観て体感して驚きや感動を得て欲しい。</p> <p>◎創作チャレンジ教室</p> <p>参加者は、クレヨンアート、カラーペイント、タイダイ染めのちぎり絵の創作にチャレンジ。</p> <p>ペットボトルを利用したライスシェーカー(お米を入れた簡単な楽器)にペインティングしたり、鈴を付けたりテープでカラフルにデザインしてオリジナル楽器作り。</p> <p>完成したお友だちは自分の楽器でジャズギタリスト「源内」率いるメンバーの生演奏に参加。</p> <p>そのまま絵を描きたいお友だちはデコピン(SWITCH BOMB)氏たちとそのままお絵描き。</p> <p>机をいくつかのグループや班に分け、それぞれのグループに講師が付き、廻って指導。</p>	<p>■実施場所 / 日程</p> <p>2/2(土) 川崎市宮前市民館 1階 大会議室</p> <p>12:00 開場 / 13:00 開講 / 15:30 終講</p> <p>■参加人数</p> <p>子ども(障がい児):48名、保護者/付添:27名、見学のみ:10名程度</p> <p>◎指導者名:岩永浩二、デコピン/大内康弘、源内/岩永源内、JENI/小脇由香里、中島一郎、ダンサー/ナオト、Zunguka 共和国 メンバー/11名</p> <p>◎パフォーマンス・ショータイム</p> <p>アイルランド ダブリンのニューパーク音楽大学を卒業し音楽学士号取得の若きミュージシャン/ジャズギタリスト「源内」参加の Zunguka 共和国 総勢 11 名による生演奏&パフォーマンス。アフリカ音楽とジャズが融合した「和フリカンジャズ」にみんなビックリしながらもドンドン引き込まれていきました。</p> <p>その演奏の中で、全国の施設等でアートワーク教室を開催するデコピン(SWITCH BOMB)氏が解説しながらのアートパフォーマンス。子どもたちはまずは観て体感しました。</p> <p>◎創作チャレンジ教室</p> <p>追ってすぐに実際にクレヨン作画にチャレンジ。</p> <p>音楽が鳴り響き、会場の楽しく明るい雰囲気の中で、それぞれ高揚しながらのアートチャレンジとなりました。子どもはもちろん、付き添いの保護者も一緒に笑顔満載でアートチャレンジしました。</p> <p>各々の机上のみならず、壁や床面にも画材の白紙を貼付。普段は描くことのない壁面や床面にそれぞれの感覚で作画しました。</p> <p>続けて塗り絵。切り貼り絵にチャレンジ。「綺麗に塗る」が目的ではありません。色使いも自由。中にはハサミで切ったり手でちぎったり、そしてそれを糊で貼り付けて全く新しい切り貼り塗り絵を完成させる子もいました。まさに子どもはみんなアーティストです！</p>

<p>◎発表タイム 時間の許す限り、各班の創作アートを、ステージ上で発表してもらおう。 講師はそれらの創作アートのどこが素敵だったか、どこをどう変更すれば更に良くなるか等のレクチャーをする。 短い時間の中でも創造性を育み、仲間に発表する喜びも体感してもらおう。</p>	<p>子どもたちの作品をデコピン先生は随時、マイクを使って会場の皆さんに紹介し、且つ解説をしました。子どもたちはそれを見て、また自分の作品を皆さんに紹介して欲しいという欲求が溢れて来て、そしてまたアイデアを出して描き出します。プラスプラスの相乗効果で、子どもたちはアートチャレンジにますます集中していました。 途中、福田市長も見学に来場して頂きました。「ジャズでアートチャレンジ！」のその夢中になっている子どもたちの姿を目の前にして、「素晴らしい企画ですね！」と仰って頂きました。 タウンニュース、読売新聞の記者の方も取材にお越し頂きました。 アートチャレンジはいよいよメインの「ライスシェーカー」の工作&ペインティングへと進みます。 空のペットボトルに、思い付くままペインティングをして、シールを貼り、リボンを飾ったり、自分の気分次第でアイデアを絞ってオリジナルシェーカーを作りました。 完成させた子どもたちは、自分のライスシェーカーを持って、Zunguka 共和国の皆さんが演奏しているステージに上がって一緒に演奏！子どもたちは夢中でリズムを取り、誰もが満面の笑みでした。保護者の方も一緒に素敵な絵がに溢れた活動となりました。</p>
--	---

【計画時の事業の実施効果】	【実際の効果と課題】
<p>① ジャズを体感して創作活動にチャレンジすることで「夢」や「希望」を知覚する。</p> <p>② 障がい児本人が、自分自身の持つ、文化・芸術の可能性に気付き、思い浮かんだ夢を諦めることなく、未来に希望を持てるようになる。</p> <p>③ 文化・芸術が持つエンターテインメントとしての「楽しみ」「気分転換」「気晴らし」「遊び」「息抜き」等が、そのパフォーマーである障がい児のみならず、周りの家族や仲間をも含め、たくさんの人々に笑顔をもたらす。</p>	<p>デコピン先生も、Zunguka 共和国のメンバーも、講師としての私たちも、音楽とアートチャレンジに関しては誰も「ダメ！」なこととは発信/発言しません。子どもたちがやりたい、やってみたい、とその場で感じたことを「安全」でさえあればなんでもアリで進めます。子どもたちの多くはあれだけ多くのメンバーによる生演奏を目の前で聴きながらのアートチャレンジは初めての体験だったでしょう。まさに「夢」や「希望」を知覚出来たと自負しています。そして自分が表現した作品が会場の皆さんにデコピン先生によって紹介されます。子どもたちは大いなる自信が身体中に湧いてきたことでしょう。</p> <p>届いたご連絡、感想からいくつかを以下に記します。</p> <p>-----</p> <p>■うちの子は自閉症で開演直後は緊張していましたが、市長が笑顔でいらっしゃったあたりからだんだん元気になりました</p>

た！家族全員で笑顔になりました！

■ピッカのみなさん、こんばんは！今日は、ジャズでアートチャレンジ教室に参加させて頂き、ありがとうございました！

帰ったばかりなのに「今度はいつ？」と聞かれて困ってます(^_^)

来週の多摩区の発表会にも行って良いですか？参加出来ますか？

■今日のチラシやポスターを見た時からこれは絶対楽しそう！うちの子も喜ぶぞと思いましたが、その通りでした！住んでいる川崎市が、障害児にも子どもにも温かいことがとっても誇らしく感じました。是非来年も開催して下さい！

■自宅でも学校でも、積極的に行動しない子なのに、最後はステージに上がるまでになり、描いた絵をデコピン先生に「見て下さい！」と声をかけたり。驚くことだらけでした。「市長さんと握手したかった！」とそれが心残りのようでした！ありがとうございました！

■講師の先生方、ジャズ演奏のメンバーの皆様には大変お世話になりました。ジャズとアート、どちらも心から楽しめて、嬉しい1日を親子で過ごせました。

■言葉の遅れがあり自分の気持ちをあまり話さない子ですが、今日のチャレンジ教室ではしっかりと話しをして、楽しんでいる様子がハッキリと分かりました。子どもにとって安心できる場所を見つけられた気持ちです！本当に感謝しています。